

鳥取大学生命機能研究支援センター技術講習会

# 多核NMRの測定とデータ処理

核磁気共鳴分光分析装置(NMR)は、物質の分子構造を原子レベルで解析できるため、化学、バイオ、食品、環境分野など幅広い分野で利用されています。さらに、NMRは水素核( $^1\text{H}$ )、炭素核( $^{13}\text{C}$ )だけでなく、多くの核種(多核)も分析対象であることから、創薬、電池、触媒などの新しい分野にも利用されています。

今回の技術講習会では、日本電子製JNM-EXP500を用い、多核NMRの測定およびデータ処理についてメーカー技術者により実習形式で行います。

皆様のご参加をお待ちしています。

変更しました！

2018年3月~~20~~**27**日(火) 10時~17時

鳥取大学工学部大学院棟1階 7153室  
(鳥取市湖山町南4-101)



内容:  $^{19}\text{F}$ ,  $^{27}\text{Al}$ ,  $^{29}\text{Si}$ -NMR測定と  
データ処理

講師: 日本電子(株) 鴨 修 氏

定員: **5名程度** お申し込み多数の場合は調整させていただきます。

申込: **3月16日(金)** までにお申し込みください。

参加希望の方は「①所属、②氏名、③職名/学年等、④メールアドレス」を記載の上、メールでお申し込みください。

\*ご提供いただいた個人情報は参加者の事前把握および今後の活動の企画立案に利用します。

E-mail: **desp@adm.tottori-u.ac.jp**

鳥取大学 生命機能研究支援センター 設備サポート分野 西村・池成(鳥取地区担当)  
電話(0857)31-6013 (内)2768 ※電話はお問合せのみ

主催 鳥取大学生命機能研究支援センター 機器分析分野・設備サポート分野  
鳥取大学技術部